

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2022年(令和4年)8月1日 会報 第124号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo,Street 608, Toul kok,
Phnompenh,Cambodia
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



今年2度目のカンボジア訪問は感動の旅でした

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

5月20日〜6月13日、カンボジアを訪問しました。1月に続き今年2度目の訪問でした。

日本・カンボジア両国ともにコロナ感染者が減少傾向にあることから、両国空港ともに出入国緩和が図られたことは、旅行者にとり大きな救いでした。

行きのカンボジア入国はワクチン接種証明書の提示のみ、帰国時は現地で行うPCR検査陰性証明書の提示のみとなりました。

一方で、現地で行うPCR検査で万一陽性判定されると、2週間のホテル隔離(カンボジアの場合は自己負担)となり、帰りの航空券も無駄になるなど、不安要素がまだ残っているのも事実、通常渡航はまだ難しくそうです。

カンボジアは5月から雨季に入り、ほぼ毎日のようにスコール(豪雨)に見舞われました。排水溝が少ないプノンペン(金邊)の街はあっとい間に冠水、

ボートで移動する人も現れました。雨の後は少し涼しくなりますが、日中は35度を超える猛暑日が続きました。

今度の旅は、通常会務のほかに、思いがけない一度のカンボジア地方選挙が行われ、事前の激しい選挙戦を目にすることができました。結果は政権与党の圧勝でしたが、それでも野党勢力が予想以上に票を伸ばしました。

また最終日に近い10日には、カンボジア政府を代表してフン・マネット陸軍司令長官が、長年にわたるカンボジア支援活動を評価してください、本会に友好勲章を授与してくださいとお願いしました。この栄誉を会員の皆様とともに分かち合いたいと思います。

今回はいつもより長い滞在につき、今まで行ってきたことのない地方にも足を伸ばし、素晴らしい体

験をすることができました。本会報にて、順次レポートいたします。

往復便は韓国経由でしたが、帰国時にプノンペン国際空港で搭乗したカンボジア人の技能実習生とおぼしき同じユニフォームの軍団は、経由地の韓国でみんな降りてしまいました。一抹の寂しさを覚えた瞬間でした。



出発を待つ韓国行き技能実習生

フン・マネット氏が「カンボジア友好勲章」を授与



6月10日、カンボジアのカンダール県アンスノール地区に於いて医薬品回収工場の開所式が行われ、カンボジア政府からフン・マネット陸軍司令長官が主賓で招かれた。その席上フン・マネット氏が、本会に対し「カンボジア友好勲章」を授与され、本会を代表し根岸理事長がこれを受領した。20年以上の長きにわたり、カンボジアの復興を側面より支援してきた本会への感謝の証である。



工場の開所式に約千人が集いました



時期首相候補のフン・マネット氏(左)

主賓のフン・マネット氏はフンセン首相の長男で、人民党(政権与党)からフンセン首相の後継者として指名を受けた、事実上の現政権ナンバー2。この栄誉を理事長を筆頭に、陰に陽に本会を支えてくださった会員たちと分かち合いたい。この受章を機に更なる精進を積み重ね、カンボジアとの関わりを継続して支援と交流の輪を広げて参りたい。

3年ぶりに「カンボジア・フェスティバル」開催

5月3日〜4日、代々木公園イベント広場(東京都渋谷区)にて「カンボジア・フェスティバル2022」が開催、本会も出店した。3年ぶりの開催だったが、コロナ明けでもあり前回比較で半数程度の出店数だった。両日とも晴天に恵まれ沢山の方々来場、久方ぶりの開催ということもありカンボジア製品が飛ぶように売れて、1日目で大半売りつくしてしまうほどの盛況ぶりだった。久しぶりの開催で会員さんらも大勢集まり、旧交を温めていた。

カンボジア製品がよく売れました



所沢中央ロータリークラブで講演



マスクをして講演しました

5月9日、「所沢中央ロータリークラブ」(埼玉県所沢市)の例会が「ベルヴィザ・グラン」(所沢市星の宮)で行われ、クラブ員など約20人が集った。根岸理事長が卓話講師として招聘され、「カンボジア支援について」の演題で短く講演した。初めて聞くカンボジアのお話を、皆さん真剣に聞いてくださった。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば77年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

里親さんありがとう



【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

カンボジアの小学校に井戸が2基完成

この程・ンボジアの小学校に、大型手押しポンプ式井戸2基が完成した。

完成したのは、岩浪千恵様(東京都青梅市在住の個人会員)寄贈の「ポーセット小学校」(コンボンスプー県ポーセット郡、生徒数=496人)、武藤和義(82歳)・康代(73歳)様(長崎県長与町在住の里親会員)寄贈の「モンコルミアンチェイ小学校」(コンボンスプー県ポーセット郡、生徒数=438人)、の2つの小学校。

5月25日、2年半ぶりにカンボジアを訪問した及川副理事長、1月にも訪問した根岸理事長が2校を訪問、井戸の完成を見届け性能点検した上で贈呈式を行い、完成を祝った。

井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているので、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供している。



岩浪千恵様寄贈の井戸



武藤和義・康代様寄贈の井戸

夢ホーム卒園生はいま

クリム・クリル君(27歳)

本会が2009年、カンボジア・コンボンスプー県に開設した児童養護施設「夢ホーム」は諸事情により2020年に閉園したが、この間30人以上の子どもたちが卒園して社会に巣立っていった。

卒園した子どもたちの多くは立派に成長し、社会で活躍している。

2009年の夢ホーム開設当初に入園したクリム・クリル君(愛称=ムッ君)。両親がいなかったため同県ウドン郡から小学6年生の時入園、2015年に高校を卒業して退園、その後鈴木千雄さん(故人)のお世話を受けプノンペン市内の板金関連の会社で丁稚奉公、鈴木さんが亡くなったため会社をやめ、プノンペン国際空港で荷物運搬の仕事に就いた。

コロナで仕事ができなくなり、現在は旧夢ホームの敷地にあるレストランで、焼きたまごを作り売っている。まだまだ長い人生、発奮を期待している。



焼きたまご売りのムッ君

現地スタッフレポート

プノンペンの街は大洪水

最近カンボジアは雨がよく降ります。毎年5月~11月まで雨季ですが、最近では毎日のようにスコール(集中豪雨)があり、そのたびにプノンペンの道路は川のようにになります。私のバイクも、水の中を走ったら故障してしまいました。

道だけでなく、商店や自宅にも水が入り、水をかき出すのが大変です。

日本のJICAの支援で排水工事が行われましたが、それでも間に合わない程の豪雨です。

(スレイニッチ・現地スタッフ)



ついにボートが登場

久しぶりの出前授業



会の活動を説明する及川副理事長

6月1日、プノンペン市内の「ワットコフ小学校」(生徒数=380人)を根岸理事長と及川副理事長が訪問、2年半ぶりに出前授業を行った。

今回は5年生クラス(50人)を訪問。及川副理事長が用意した投影機を活用、白いシートのわかさクリンで本会の活動、日本の小学校の現状などを映像で紹介した。生徒の皆さんは興味深そうに観ていた。

最後に、本会が用意した学用品セット、及川副理事長が用意した高級鉛筆などをクラス全員に寄贈、次回の訪問を約束した。

クラスの集合写真を800人にお届け



生徒に集合写真を配る遠藤啓さん

根岸理事長のカンボジア訪問に同行した遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市在住の個人会員)は、カンボジア滞在中に4つの小学校を訪問、約800人の生徒たちのクラス別集合写真を撮り、全員に届けた。これにかかる経費は全て自己負担、20年の長きにわたり継続している。

今回の訪問では、根岸理事長に同行して「友好勲章授与式」を始めとし、沢山の場面を写真に収めてくれた。感謝!

日本の子どもたちが描いた絵画を届ける

6月2日、本会が教育支援する小学校の中で最も里子数が多い「プレチーク小学校」(トゥボンクモム県、生徒数=666人・幼稚園児含む)を根岸理事長と及川副理事長が2年半ぶりに訪問、平田小学校(岩手県釜石市)の生徒たちが描いた絵や版画を届けた。及川副理事長より、各教室に飾ってほしいよう、先生に依頼した。

コロナ禍でしばらく中断していた絵画交流が、再び復活しそうだ。



日本の小学校生徒たちが描いた絵画をもらいました

村の子どもたちにプレゼント

6月7日~8日、地方の村で暮らす里子を訪問、日本にいる教育里親さんから預かったプレゼントやレターを届けたが、その際に、日本の会員さんから預かったぬいぐるみなどを村の子どもたちに届けた。

子どもたちは、思いがけないプレゼントを喜んでいました。



くす玉(折り紙)をもらいました

炭焼き用の樹木を伐採
コンボンスプー県の山中に行くと、炭焼き用に伐採した木を運ぶ運搬車に何台も出会った。熱帯なので木の成長も早いのだが、このペースで伐採していけば「はげ山」にならないだろうかと思ふ。



樹木伐採



田植え

カンボジアは5月頃から雨季に入り、毎日のように雨が降っている。早い所ではすでに田植えが始まっているが、全国的には田んぼに水を蓄えている段階。カンボジアの雨はスコール(豪雨)で都会では洪水になってしまうが、地方にとっては恵みの雨。

田植えが始まる

カンボジアはまだ敷設されていないので、カンボジア初と言えそう。視覚にしようがいを持つ方も安心して街に出られそう。



点字ブロック

世界遺産の街「シエムリアップ」は街中の道路が整備されたが、その一環で点字ブロックが一目見え

カンボジア初の点字ブロック



ゴミ箱

プノンペンの街がきれいになった。各家庭にゴミ箱が設置されたこともあり、市民の環境美化や衛生に関する意識が変化しているようだ。まだゴミが散乱している場所も多く見かけるので、先ずは歩前進といったところ。

プノンペン市内でゴミ箱設置

り過ぎるのを待つしかないのかな風景。かつて日本もこんな時代があった。



もう勤弁して

地方の道を走っていると、時々牛の大群に出会う。カンボジアの道は専用道ではなく、牛が歩く道でもある。じつと我慢して通

乗合いバス増発

コロナ禍でプノンペン市内の乗合いバスの数が減っていたが、コロナも落ち着いたため増発した。この機会に初めて乗ってみたが、とても快適だった。料金も安くエアコンも効いている。日本と中国がこの事業を支援している。



乗り合いバス

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています



教育支援金を 届けました

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(25校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

6月15日~6月26日にかけて4月と5月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。

カンボジアの学校は、8月中頃から10月まで長い休み期間に入る

5月28日、カンボジア滞在中の及川副理事長(岩手県在住の里親会員)が里子を訪問した。対面での里子訪問は、本会としても2年半ぶりとなる。中学校の授業を参観した後里子の家に行き、久しぶりに面会した。里子は中学3年の女の子、来年は高校受験を目指すという。午前中学校に行き、午後は5か所もの学習塾に通っているという。将来警察官になりたいそうだ。

現地訪問が難しい中、Zoomによるオンライン里子訪問も順調に行っており、希望する里親さんが増えてきた。

希望される方は事務局にお問い合わせを。
☎03-3991-2854



プレゼント持参で家庭訪問

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在280人の子どもたちを教育支援している。

今年に入り新学期を迎えた子どもたちは、コロナ禍による休校もなく学習に励んでいる。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 里子を訪ねて六千里

副理事長 及川 英博(岩手県奥州市在住)



井戸贈呈式で感謝状を受け取る

世界中に新型コロナが蔓延して、収束・感染拡大を繰り返しながら3年目の春を迎えた。

この間、本会の活動もインターネットを使い現地とオンラインで結び、希望する会員に里子訪問、井戸や学校の贈呈式の様子を画像中継、週1回の会員相互の情報交換会等をネット環境が不安定な中でも、スタッフの方々の手を借りながら試みてきた。

渡航が出来ない中ではあったが、コンピューター社会から縁遠い「高齢者層」には中々馴染めないものである。

3月を迎えた頃から世界的にコロナ感染が小康状態になり、各国では人的移動の規制緩和が図られるようになった。

私の里子ソペアも今年は中学校の卒業期のはずだが、休校続きで勉強はどうしているだろうか。高校進学希望はあるのだろうか。意思の確認ができないままである。

4年前から始まった「学校間の絵画交流」も頓挫したままである。3年前に預かったままになっている絵画は、描いてくれた生徒たちはもう中学生になったはずである。

どうしても渡航したい、という気持ちが日増しに募り、5月下旬、私はまだ日本からの直行便が運航されない中、インチョン経由で倍の時間をかけて、単身カンボジアへ出かけた。

来てみると、同じ思いで渡航した会員仲間がいるではないか。2週間の滞在期間中、一部仲間と合流しながら、私はズームによる生徒間交流の打診のために学校を訪問、里子宅の訪問と里子の授業参観、井戸の贈呈式出席、パワーポイントを使って出前授業の実施、情報収集のため回ったカンポット・ケップ方面、バタンボン・バイリン方面、公共交通機関(バス・電車)の乗車体験等など3年間のブランクを埋めるかのように、老骨にムチを打ちながら歩き回った。

滞在中は持参した「抗原検査キット」で自主検査も密かに行った。帰国時には国立保健センターでPCR検査を受け、即日「陰性証明書」の交付を受けて帰国した。「案ずるより行動すべし」であった。(続く)

投稿 100歳まで元気で!

鈴木 春男(カンボジア シェムリアップ在住の里親会員)

92の日本人男性が、元気かくしゃくとしてプノンペンに住んでいます。兵庫県出身の中井隆夫さんです。

14年前に50歳年下のカンボジア人女性と結婚されました。翌年に娘さんが生まれ、小学6年生になっています。

娘さんは学校の成績優秀で一番も取り、常に3番以内です。百歳まで、元気でいてほしいです。



元気な中井さん

投稿 首都プノンペンの名前の由来

中村 善信(プノンペン在住、喫茶店経営)



ペン夫人の像

カンボジアの首都はプノンペン都です。日本だと東京都と同じように、立法・行政・司法の中央官庁が集中しています。

さて今回は、プノンペンと名付けられた首都の名前の由来です。

プノンペン都の中心部の北方に小高い丘があり、頂上には歴史ある仏教寺院(ワットプノン)が建っています。

『プノンペンという名はクメール語で「ペン(婦人)の丘(プノン)」という意味である。ペン婦人は信心深い女性で、川を流れてきた仏像を見つけ、近くの丘に祠を作り仏像を手厚く祀ったことから「プノンペン」と名付けられ、それが町の名前になった。その丘はワット・プノン(Wat Phnom)と名付けられ、ペン婦人の像や仏塔が建っている』、ウィキペディアからの引用です。

ワットプノン寺院には観光客の方は行かれますが、ロータリーの外周には言い伝えを絵画化された物語の彫刻があります。4面あります。中央にはペン婦人の像が建てられています。こちらもお忘れなく、ご覧になってください。

尚、ブログ「なかやんのプノンペン滞在記」の今年2月23日の記事で、写真点数も多く詳しく取り上げています。ご興味ある方はこちらまでご訪問ください。

春さんのカンボジアレポート ~ミス・ユニバース・カンボジア2022~

ミス・ユニバース・カンボジア2022のコンテストが開催され、6月15日が決勝戦でした。優勝者には、18万米ドル相当(約2,300万円)の王冠が与えられます。



ミス・ユニバースコンテスト

この王冠はカンボジアのラタナキリ宝石で出来ており、製作に3カ月以上かかったとのこと。

カンボジアの平均年収は2,000ドル(約25万円)ですので、おおよそ90年分です!

今回の参加者に、元ミス・グローバル・カンボジアのハン・ソリアン嬢がいます。たぐいまれなる美貌ですが、カンボジア女性の顔ではない感じがします。このコンテストにはトランスジェンダーの女性は参加する資格がないとのこと。スポーツ競技と同様に、元々の女性が不利になるのでしょうか。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

